



びっきー

第7号

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく
生きる生徒の育成

6月全校朝会の話

今日は2つのことを話します。さて、今日6月10日は何の日か知っていますか?「時の記念日です」奈良時代に作られた「日本書紀」によれば、天智天皇が日本で最初に時計を作りました。その時計は水が落ちることによって時間を計る、水時計だったそうです。その時計が動き出したのが6月10日だったということです。それを由来として、大正時代に「時の記念日」が6月10日に定められました。大正時代の人たちは、欧米のように正確な時の感覚を身に付けて生活できるようにしようと「時の記念日」を定めました。そして、今では日本人の大多数の人が『時間を守ることを』を最低限のマナーとして認識している国になりました。それどころか、正確な時間を守って動く交通機関など、世界中の人から、「日本人ほど時間に正確な国民はいない」と言われるようになりました。

そこで、江北中学校はというと、ほぼ毎日がノーチャイムです。みんなが時計を見て行動してくれることを嬉しく思っています。時間を守るのは学校だけではなくありません。家庭でも当然です。起床時刻、自分で決めた時刻に起きられていますか?登校時刻、遅刻しないで登校できていますか?家庭学習の開始時刻、決めた時間に始められていますか?一番守れていないのは、TVやネット、ゲームを利用する時間ではないでしょうか?そして就寝時刻。この就寝時刻が守れないと起床時刻が遅れたり、起きるのがきつかったりします。起床時刻が遅れると1日の生活リズムが崩れます。そうすると充実した1日を送ることができなくなり、これが積み重なると友達との差はどんどん広がっていくばかりです。時間を守り規則正しい生活を送ることは、とても大切なことなのです。家ではチャイムは鳴りませんが、学校で時計を見て行動できているので、家庭でもできるはずですよ。今日は「時の記念日」です。自分は「時間」を有効に活用できているか見つめる日にしてください。

道徳によって、国を平和に治めることを説く

孔子

紀元前五五二〜四七九年
中国の春秋時代
日本では縄文時代
中国の思想家

「論語」

孔子曰く、……
孔子おっしゃいました
教えをまとめたもの

「過ちを改めざる、是を過ちと謂う」
(間違っても、反省せず、直さない。これこそ「間違い」と言う。)

「儒学」「儒教」としてアジアに広がり、大きな影響を与えた。

2つ目の話です。仲間を大切にしてほしいと言う話です。この人は、誰だかわかりますか?今から2500年前、紀元前に中国で活躍した人です。日本では縄文時代に当たります。道徳によって、人の生き方、国を平和に治めることを説いた人でもあります。わかりますか?

「孔子」という方です。孔子の代表的な書物は何かわかりますか?「論語」という書物です。この書物は、図のように「子曰」で始まっています。「子」とは「孔子」のことで、「曰く」は「おっしゃいました」という意味です。つまり、孔子の弟子たちが、孔子の教えを長い年月かけてまとめたものが「論語」と言われています。この時代の日本の縄文時代では、紙もなければ字もない時代でもあります。弟子たちによって言い伝えられ、完成したものだと思います。有名な言葉として「過ち改めざる、是を過ちと謂う」。意味は「間違っても、反省せず直さない。これこそ『間違い』』と言う意味です。聞いたことがある人もいます。

それでは、論語の中から2つ紹介します。弟子の子貢が、孔子に「生涯で行うことを一言で表すと何ですか?」と尋ねると、それは「怒(思いやり)」だと教えられ、加えて、

子貢問曰 有一言而可以終身行之者乎 子曰 其恕乎 己所不欲 勿施於人

子貢、問うて曰く、
(子貢が質問して言うには、)

有一言而可以終身行之者乎
一言にして以て、終身、之を行うべき者、有るか。
(一言で、死ぬまで行うべきことを表す
言葉はありますか。)

子曰く、
(孔子が答えて言うには、)

其恕乎
それ恕か。
(それは怒だ。)

己所不欲
おのれほ
己の欲せざる所は、
(自分がしてほしくないことを、)

勿施於人
人に施すこと勿れ
(人にしてはならない。)

怒 = 思いやり

「己の欲せざる所は、人に施すことなかれ」と言われています。これは、論語の言葉の中でもとても有名だと思います。「自分がしてほしいことを、人にしてはならない」誰でも分かる簡単なことです。自分がしてほしいようなことは、誰にとってもしてほしいことなのです。この言葉の意味自体は、このようにとても簡単なのです。しかし、行うことは一生かかってもできるかどうかという難しいことだと思います。例えば、自分の命を奪われるようなことや頭ごなしにばかにされるようなこと、信頼を裏切られるようなことなどは、ほとんどの人が「自分にはして欲しくない」と思うでしょう。こういったことは、人間として当然、人にしないのが当たり前のことです。そもそも、こういう大それたことをする人は、あまりいないと思います。

しかし、乱暴な言葉で話されたり、機嫌が悪いのか時に八つ当たりされたり、借りた物を返されなかったりするなど、「些細な自分にはして欲しくないこと」もあるのです。これらの「些細な自分にはして欲しくないこと」を全て人に自分は絶対しないといいきる人がこの世の中にいるのでしょうか。この言葉を全て実行することは、死ぬまでかけてもできるかどうかの難しいことだと思います。少しずつ、少しずつ、「自分がしてほしいことを、人にしないようにしていくこと」を意識しておくことが大事だと思います。

逆に、自分がされたら嬉しいことは、他の人にもしてあげてください。「あんまり元気ないみたいだけど大丈夫？」「ありがとう」をいうなど簡単な言葉かけでもいいです。昨年度も言いましたが、自分の思いを相手にやるのが「思いやり」だと私は思います。

「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」この部分だけでも覚え、時々自分自身を見つめ、実践できているか振り返ってほしいと思います。もし、振り返って「あの時、自分がいけなかったな」など心当たりがあれば、素直に言葉にして謝ることも自分を成長させることにもなります。

益者三友 (自分を成長させるために有益な友達は三種類ある)

① 友直 … 正しいと思うことをはっきりと言ってくれる人

② 友諒 … うそのない誠実な人

③ 友多聞 … 知識が豊富な人

益矣 (益なり)

孔子曰く、益者三友、損者三友。

友直、友諒、友多聞、益矣。

友便辟、友善柔、友便佞、損矣。

こうしいわ えきしゃさんゆう
孔子曰く、益者三友
そんしゃさんゆう
損者三友。

な お とも まこと
直きを友とし、諒を
とも たぶん とも
友とし、多聞を友とする

えき
は、益なり。

べんへき とも ぜん
便辟を友とし、善
じゅう とも べんねい
柔を友とし、便佞を
とも せん
友とするは損なり。

損者三友 (自分の成長に結びつかない友達にも三種類ある)

① 友便辟 … 態度は優しいが、人の言うことに調子を合わせるだけの人

② 友善柔 … つきあいは良いが、誠実さのない人

③ 友便佞 … 口先ばかり、調子のいいことばかりいう人

損矣 (損なり)

2つ目の論語の話をしてします。全く意味がわからないと思います。孔子がおっしゃるには、「益者三友」つまり、自分を成長させてくれる有益な友達には3種類ある。逆に、「損者三友」つまり、自分を成長に結びつかない友達にも3種類ある」と言っておられます。

「益者三友」自分を成長させてくれるよい仲間はこの3つ、① 正しいと思うことをはっきりと言ってくれる人。② うそのない人 (諒は「まこと」という意味があります)。③ 知識が豊富な人。は「益なり」と言っておられます。

反対に自分の成長の妨げになる仲間も3つあると言っておられます。① 態度は優しいが、人の言うことに調子を合わせるだけの人。② 付き合いはよいが、誠実さのない人。③ 口先ばかり、調子のいいことばかりいう人。は「損なり」と言っておられるのです。

孔子は、今から2500年前の方ですが、損者三友、まるで現代のSNS上でのいじめや差別、誹謗中傷の世界を見越していたかのようなことをおっしゃっているなど私は感じました。表面上は調子を合わせ仲良くしているふりをして、陰では別の仲間と悪口や裏切るようなことを言ったり書き込んだり……。

孔子は「友達を選ぶなら」と言っていますが、違う見方をすれば、自分が「損者三友」のような人に自分はなっていないか、自分自身を見直すキーワードだと言えらると思います。信頼し合い、高め合い、学び合える仲間づくりをしてほしいと思います。

今月は、ちょっと難しい話だったかも知れませんが、時間を大切にしてほしいこと。仲間を大切にしてほしいことの2つを今日は話をしました。